

5 通信テスト(電波状態の確認)

△注意	警報器が電池切れ、故障の場合は通信テストができません。
△注意	電波が届かない警報器がある場合、通信テストが終了するまでに最大20分程度かかることがあります。正常に終了する場合と比較して大幅に長くなります。
△注意	通信テストを続けて行ないでください。再度、通信テストを行なう場合には、通信テストが終了してから最も1分以上経過した後に行ってください。連続して通信テストを実施すると、通信テストが正常に終了しないことがあります。
△注意	複数の警報器で同時に通信テストを行ないでください。通信テストが正常に終了しないことがあります。

警報器を新たに取り付けた場合や、警報器の取り付け場所を移動した場合には、必ず通信テストを実施し、正常に動作することを確認してください。

通信テストは全ての同一グループの警報器に、正常に電波が届くかどうかを確認するために行います。任意の警報器のテストボタンを長押しし（約3秒間）、「ビップ」と鳴ったら手を離してください。「通信テストを始めます」と鳴り、通信テストを開始します。通信テスト中は、正常に通信できた全ての警報器から「通信テスト中です」と鳴ります。全ての警報器と正常に通信が行えた場合は、最大10分程度でテストは終了します。

火災以外で動作する場合

△注意	火災以外で動作した場合は、異常のないことを確認し、室内の換気をするか火災警報音を止めてください。警報器は取り外さないでください。
------------	--

●レンジ、エアコン、ストーブなどの熱がかかった時
●調理の熱などがかかった時
※頻繁に動作すると電池寿命が短くなる場合があります。

テストのしかた このテストは警報器の機能と警報音を確認するものです。

△警告	高い所での作業ですので、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご注意ください。
------------	---

●点検の時、ライターの炎を使用しないでください。警報器の故障や火災の原因になります。

●正しくご使用いただいても、電池の消耗や故障などで正常に動作しない場合があります。下記の要領で1カ月に1回、および1週間以上留守にされた時、正常に動作するかテストを行ってください。

●取り付け位置を変えた場合は通常のテスト以外に、必ず通信テストを行い、全ての警報器に電波が届くことを確認してください。

8 電池切れを自動でお知らせ【電池切れ検知機能】

本警報器は電池の残量が少なくなったとき、自動的に「警報音」でお知らせします。

△注意	電池寿命は約10年間ですが、お客様のご使用状況により、電池寿命が短くなる場合があります。
------------	--

電池切れになったとき…

電池切れを検知した警報器は動作表示灯が約10秒おきに1回点滅し、電池切れ警報音が約50秒おきに「ピッ」、約1時間おきに「ピッ」電池切れですと鳴ります。連動の警報器では、動作表示灯が約50秒おきに1回点滅し、電池切れ警報音が約50秒おきに「ピッ」、約1時間おきに「ピッ」別の警報器が電池切れです、ピッ別の警報器が電池切れです、ピッ別の警報器が電池切れですと鳴ります。

※電波状態により連動先の警報器が鳴るまでに数分かかる場合があります。



電池切れ警報音を止めるには

電池切れを検知した警報器のテストボタンまたは引きひもを操作する全ての警報器の電池切れ警報音が一時停止します。電池切れを検知した警報器のみ約12時間後に再び電池切れ警報音が鳴ります。連動の警報器では、動作表示灯が約50秒おきに1回点滅し、電池切れ警報音が約50秒おきに「ピッ」、約1時間おきに「ピッ」別の警報器が電池切れですと鳴ります。

※一度停止後、再び操作するとの時点から電池切れ警報音が約12時間停止します。

※動作表示灯は点滅し続けます。工事店もしくは保証書内に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※動作表示灯は点滅し続けます。工事店もしくは保



(01)2800104011

住宅用火災警報器

DAIKEN火の元監視番
煙DC06A無線タイプ
熱DC06A無線タイプ

DC06A無線タイプ・早分かり設定マニュアル

商品記号(品番) 煙: SA0610-1A 熱: SA5610-1A

ご使用時は必ず取扱説明書をお読みください。

このマニュアルは、本警報器を正しくご使用いただくための設定方法をまとめたものです。

このマニュアルは、煙タイプのイラストを使って説明していますが、熱タイプも同じ方法で設定できます。

I. 登録方法

- 本警報器は、最大15台まで登録し、連動することができます。

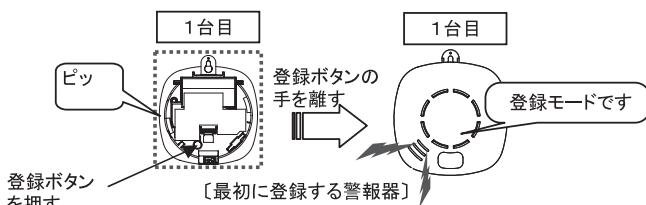
①全ての警報器の電源を入れる

1秒間テストボタンを押して、「ピッ」と鳴ったら手を離してください。
直後に「未登録です」と鳴ります。



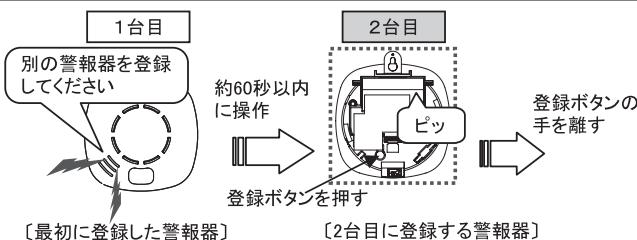
②1台目の警報器の登録

どれか1台のみ登録ボタン(背面)を押し「ピッ」と鳴ったら手を離してください。
「登録モードです」と鳴り動作表示灯が点滅します。

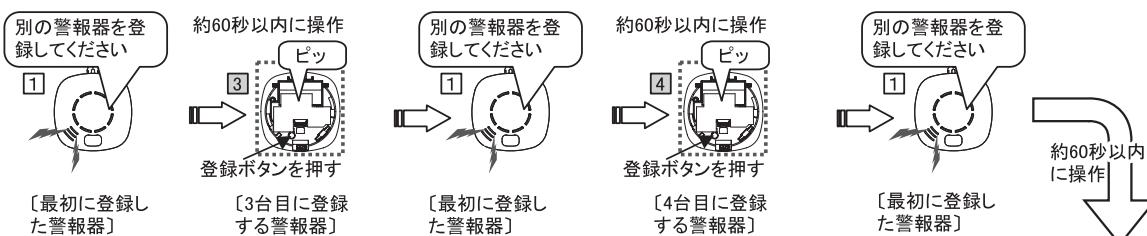


③2台目の警報器の登録

約5秒後に②で操作した1台目の警報器が「別の警報器を登録してください」と鳴るので、約60秒以内に2台目の警報器の登録ボタンを押し、「ピッ」と鳴ったら手を離してください。



④3台目以降の警報器の登録(③の操作の繰返し)

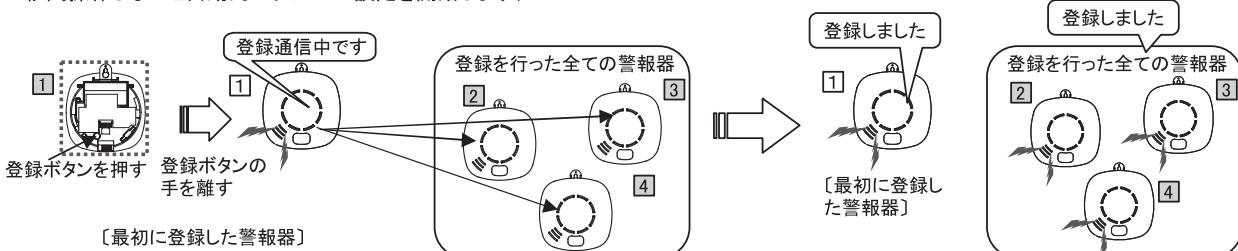


しばらくすると②で操作した1台目の警報器から「別の警報器を登録してください」と再度鳴るので、残りの警報器についても1台ずつ③と同じ手順を繰り返し、全ての警報器の登録を行います。

繰返し登録する全ての警報器の操作を行う

⑤グループ設定

④の操作が終了後、②で操作した1台目の警報器の登録ボタンを押してください。
(約60秒間操作しないと自動的にグループ設定を開始します)



全ての警報器が「登録しました」と鳴り、動作表示灯が消灯したら登録作業は完了です。

⑥グループ設定終了後、実際の位置に取り付け

各設置場所に設置後、通信テストを行い、電波が届いているかチェックしてください。

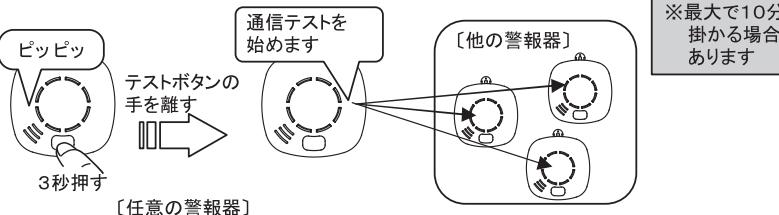
II. 通信テスト

新規に取り付けた場合や取り付け位置を変えた場合は必ず確認してください。

①任意の警報器のテストボタンを長押し

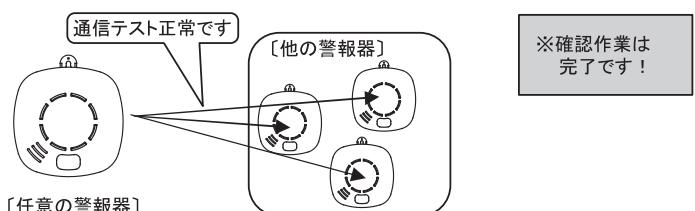
- 3秒間テストボタンを長押して、「ピッピッ」と鳴ったら手を離してください。
- 「通信テストを始めます」と鳴り、通信テストを始めます。

※任意の警報器は、グループ内のどの警報器でも構いません。



②-1 正常な場合

- 全ての警報器から「通信テスト正常です」と鳴ります。その後、約3分間点滅します。
テストボタンを1回押すことにより、この点滅を消すことができます。



②-2-1 電波が届かなかった場合

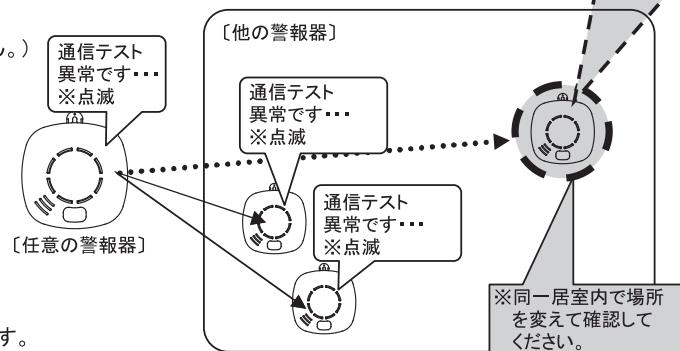
- 電波が届かなかった警報器がある場合は「通信テスト異常です 別の警報器を確認してください」と鳴ります。
- 電波が届かない警報器は無音になります。(点滅もしません。)
その警報器を探してください。
- 電波が届かない警報器は設置場所を変えて通信テストをやり直してください。

★電波が届いている警報器
※音声告知
(「通信テスト異常です別の警報機を確認してください」)
※10秒周期で2回点滅

★電波が届かない警報器
※無音
※点滅なし

②-2-2 場所を変えても届かない場合

- 別の警報器の近くで同様の通信テストを実施してください。
それでも『無音、点滅が無い』場合は故障の可能性があります。



初期化（グループ全てを初期化）

登録をやり直したい場合や別のグループに登録したい場合など、工場出荷時のグループ化されていない設定に戻す作業です。

●グループ内の全ての警報器を初期化します。但し、1台ずつ全ての警報器に対して初期化の作業を行ってください。



●両ボタンを約1秒程度短く押し、「ピッ」と1回鳴った際に手を離すとチャンネル設定となり、続けて同作業を繰り返すとチャンネル変更します。

名称(登録、通信テストの際に使用するボタン)

- テストボタンと登録ボタンの使い分けで、操作します。
- アンテナは内蔵しています。



大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス
<http://www.daiken.jp/>

製品に関するお問い合わせは… お客様センター

0120-787-505

受付時間 平日9:00～17:00 (土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります)

商品記号(品番) 煙:SA0610-1A 熱:SA5610-1A

2-8-001-0401-151